

# 令和8年度調査・研究および国際研究集会助成金交付申請の受付について

[HOME](#) / [助成・表彰](#) / [受付中の助成申請](#) / [令和8年度調査・研究および国際研究集会助成金交付申請の受付について](#)

下記の要領により、標記の受付をします。希望者は、所定の用紙に必要事項を記入し、押印の上、正本を事務局に提出して申請してください。申請用紙は本協会事務局から取り寄せるか、あるいは、このページ下部の、PDFまたはWORDの様式をダウンロードして使ってください。なお、申請用紙枚数の追加はできません。

締切りは2026（令和8）年3月31日（本協会事務局必着）です。

## 助成の対象と応募資格

### 助成期間

#### 1. 地学に関する調査・研究

- カテゴリa：2026(令和8)年6月1日から2028(令和10)年5月31日まで。
- カテゴリb：2026(令和8)年6月1日から2027(令和9)年5月31日まで。

#### 2. 国内で開催される地学に関する国際研究集会

2026(令和8)年6月1日から2027(令和9)年5月31日まで。

### 助成対象

個人(本協会の会員あるいは会員の紹介を受けた者)、または、研究グループ(代表者が会員または会員の紹介を受けた者)。

#### 1. 地学に関する調査・研究

年齢、国籍は問いません。

- カテゴリa：2年間にわたって遂行される規模の大きい調査研究
- カテゴリb：単年度で終了する小規模な調査研究

#### 2. 国内で開催される地学に関する国際研究集会

原則として、申請者(研究グループ構成員を含む。)は、上記の1、2に重複申請できません。また、過去5年間(令和3年度～令和7年度)に調査・研究または国際研究集会助成を採択された申請者(研究グループ構成員を含む)は、上記の1、2の対象外とします。

## 助成金額

1についてはカテゴリaについては200万円以内とし、初年度に半額、次年度に残りを支給します。初年度に残額が生じた場合は次年度に繰り越すことができます。カテゴリbについては50万円以内、2については100万円以内とします。なお、本協会の役員、助成委員会委員及び助成対象者選考委員会委員は、助成の対象としません。また、助成対象者が当協会の役員に就任した場合は、助成金の受け取りを辞退するものとします。

## 助成金の使途

1. 助成金の使用は原則として申請書の使用明細にしたがい、当該研究を遂行するために直接必要とする経費に限るものとします。
2. 認められる経費を例示すれば、次のようなものがあります。  
現地調査を行うための旅費(交通費・宿泊費等)、資料購入費、研究を補助する者に支払う賃金・謝金、実験・分析などを外注するための雑役務費、所属機関の規程等により所属機関が必要とする管理費。
3. 認められない経費を例示すれば、次のようなものがあります。  
パソコンやプリンター、汎用ソフトなど当該研究以外にも広く使える汎用的な機器の購入費、概論的・教養的な書籍の購入費、学会費、学術大会の参加旅費・登録料・予稿集購入費、事務費等の間接経費、飲食費、家賃。ただし、この研究に関する成果を学会で発表する場合は、その参加旅費は認められます。
4. 上記3に例示されたものでも、当該研究の遂行上必要性が高いと認められる場合は、事前に本協会と協議し使途として認められる場合もあります。

## 助成内定を受けた者の義務

1. 助成内定金額に応じた実施計画書を提出してください。
2. 助成受諾時に実施誓約書を提出してください。大学院生は誓約書と指導教員の同意書を提出してください。

## 助成等を受けた者の義務

1. 助成対象1.地学に関する調査・研究カテゴリaの者は、助成期間の前半終了までに計画書に基づき、調査研究の進捗と助成金の使用状況を報告し、次年度の助成金の交付を申請するものとします。
2. 助成終了年(助成対象1.地学に関する調査・研究カテゴリaについては採択年度の翌々年、その他については翌年)の6月30日までに、領収証を貼付した会計報告(明細書)1部を本協会あてに提出してください。有効な領収書の日付は、助成開始年の6月1日から助成終了年の5月31日までとします。
3. 助成終了年の6月30日までに、様式に則った成果報告書を本協会あてに提出してください。成果の概要は、地学雑誌(地学ニュース)1頁として印刷するので、様式に沿った電子ファイルとその出力を一部提出してください。タイトル及び著者名を1段4行分とし、本文は2段組みで約1600字、成果の内容を的確に示す図表があることが望ましいですが、図(写真含む。)または表はどちらか1点とします。
4. 研究成果については、別途、地学雑誌に投稿するなど公表に努めてください。公表の際は、研究の遂行のために本協会の助成金を使用したことを明記し、コピーを一部本協会に提出してください。
5. 助成金の不適切な使用や義務違反があった場合は、助成金の返還を求めることがあります。


## 審査決定

2026(令和8)年5月下旬(予定)

## 申請書様式


調査・研究等助成金交付申請書(様式-1)

 (197KB)

 (27KB)

## 国際研究集会助成金交付申請書(様式-2)

 (189KB)

 (25KB)

### 助成・表彰

受付中の助成申請

---

受付中の学術賞

---

助成実績一覧

---

これまでの受賞者

---

2023（令和5）年度表彰

---

お問い合わせ・道順

検索

地学雑誌



## 2025年134巻6号

特集：ミュオグラフィの最近の進展 巻頭言/寄書：ミュオメトリック補完測位・ナビゲーション・タイミング/短報：時間計測応用における銀河宇宙線利用に関するINRIM-VMI共同研究の進捗状況/短報：MWPCを用いたミュオグラフィによる未発掘古墳の内部探査/総説：中国におけるミュオグラフィの研究進展 短報：ワジ・フィズ地域におけるサマイル・オフィオライトの初のミュオグラフィ観測/総説：ミュオグラフィによる二酸化炭素地中貯留モニタリングへの貢献/他表紙：ミュオグラフィによる金鉱床の三次元再構成

ウェブ図書室

[トップページ](#)

[お知らせ](#)

[入会案内](#)

[協会紹介](#)

[講演会](#)

[見学会・巡検](#)

[助成・表彰](#)

[専門家紹介](#)

[ウェブ図書室](#)

[取扱出版物](#)

